



2020年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社 J ス ト リ ー ム
本社所在地 東京都港区芝二丁目5番6号
代表者氏名 代表取締役社長 石松俊雄
(コード番号: 4308 東証マザーズ)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 竹見嘉洋
電話 03-5765-7744

2020年3月期 連結業績予想と実績値との差異及び個別業績と前期実績値との差異、 特別損失の計上、並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2019年7月30日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績値につき差異が発生いたしました。また、通期個別業績の予想値については公表しておりませんが、前期実績値との対比において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失の計上、並びに配当予想の修正につきまして下記のとおりお知らせいたします。

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異及び個別業績と前期実績値との差異

(1) 連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,160	420	430	210	18.05
実績値 (B)	8,442	547	562	249	21.42
増減額 (B-A)	282	127	132	39	—
増減率 (%)	3.5%	30.3%	30.7%	18.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	6,781	313	319	195	16.81

(2) 個別業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	5,251	169	203	139	12.02
当期実績 (B)	6,079	366	558	417	35.93
増減額 (B-A)	827	197	355	278	—
増減率 (%)	15.8%	116.8%	174.7%	198.8%	—

(3) 差異の理由

2020年3月期において、主力となる医薬系業界のWeb講演会関連ライブ配信、メディア系のコンテンツ配信や、各種運用・監視、システム開発にかかる売上が順調に拡大しました。8月に連結子会社としたビッグエムズワイの売上利益も当初の見込みを上回ったことがグループ業績に貢献しました。これに加え、2020年2月中盤から、新型コロナウイルス感染症対策のために、人の直接接触機会を減らせるライブ配信やイベントの事前映像収録等の引き合いが急増しました。同時に予定されていたイベントや会議等のキャンセルも発生しましたが、第4四半期連結会計期間に売上が相対的に少なくなることの多い医薬業界を中心に新規案件が多く獲得できたほか、コンテンツ視聴の増加によるデータ流量の増加も売上利益増につながり、連結通期業績予想及び単体前期実績を上回る実績となったものです。また個別経常利益につきましては、連結子会社から配当を実施したことにより金額が増加しております。

2. 特別損失の計上について

当社は2020年3月期決算において、サービス間の機能の重複と市場環境の変化に伴い今後の販売拡大が見込めないソフトウェア（帳簿価額14百万円）及び、連結子会社の利用状況の芳しくない施設（帳簿価額55百万円）等について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理し、特別損失70百万円を計上いたしました。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の理由

当社は財務状況等の経営環境と業績状況とを斟酌したうえ、企業業績に応じ、株主への利益配当を実施することを基本方針としております。2020年3月期の配当予想を未定としておりましたが、同期において連結営業収益は8,442百万円、上記2.で述べた特別損失を勘案しても、連結当期純利益は249百万円となり、通期目標に対して十分な結果を達成できたことから、1株あたり配当予想を6円50銭とさせていただきます。

なお、1株あたり配当金については、2020年5月18日開催予定の取締役会で決議する予定であります。

(2) 修正の内容

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想（2019年4月26日発表）	—	—	—
今回修正予想	—	6円50銭	6円50銭
当期実績	0円00銭		
前期実績（2019年3月期）	0円00銭	5円10銭	5円10銭

以上